




施策評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和5年度

1 施策の目的等

施策名	059	市内の拠点におけるまちづくりの推進				
総合計画	基本目標	IV	魅力あふれる うるおいと活力のあるまち（都市基盤・産業）		主担当部課名	まちづくり拠点整備推進本部 分倍河原駅周辺整備担当
	基本施策	02	地域特性を生かした都市空間の形成			
めざす姿	地域特性をいかした、にぎわいのある拠点市街地が形成されるとともに、各拠点が連携し合うことで、本市全体における「まちの魅力」が創出されています。					
SDGsとの関連	  					

2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	148,310,000	86,998,000	63,847,000	287,546,000		
国庫支出金	0	0	0	0		
都支出金	75,000,000	0	5,220,000	36,621,000		
市債	0	0	0	0		
その他	37,697,000	65,100,000	17,680,000	192,000,000		
一般財源	35,613,000	21,898,000	40,947,000	58,925,000		
予算現額	81,467,000	79,098,000	72,230,000	0		
決算額	77,406,027	69,852,768	63,669,191	0		
国庫支出金	0	0	0	0		
都支出金	38,000,000	0	5,108,000	0		
市債	0	0	0	0		
その他	0	53,617,300	39,228,500	0		
一般財源	39,406,027	16,235,468	19,332,691	0		
執行率	95.0	88.3	88.1	0.0		
(人件費)						
職員数	6.46	10.00	10.00	0.00		
職員人件費	50,620,497	80,788,250	79,789,910	0		
月額制会計年度任用職員数	0.00	0.00	0.00	0.00		
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0	0		
(間接経費)						
間接経費	2,117,586	834,237	838,679	0		
総コスト	130,144,110	151,475,255	144,297,780	0		

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移				R 7年度 目標値	
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		
① まちの拠点整備に関する満足度（過去5年平均）	50	実績	43.28	40	-	-	54
	%	達成率	80.1	74.1	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向		評価	外部要因の影響で遅れが生じた
国・都の政策		指標は、市内6つの拠点（中心拠点、地域拠点、日常生活拠点、広域医療拠点、文化スポーツ拠点、にぎわい活力拠点）の整備に関する満足度であり、合わせて13地区が対象となっている。 なお、分倍河原駅周辺地区では、基盤整備に係る施策を中心に、事業用地の取得に向けて関係権利者との調整に時間をかけて丁寧に対応していることや、鉄道事業者を始めとした関係者と慎重に協議を重ねていることから、当初計画より進捗状況に差異が生じている。 また、府中基地跡地留保地周辺地区では、オオタカの営巣及び繁殖が確認されたことにより留保地の一部に保全区域を設置する見通しとなったため、土地利用の検討作業を改めて実施することになった。	
市民ニーズ			

4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	分倍河原駅周辺整備事業		主担当部課名	まちづくり拠点整備推進本部 分倍河原駅周辺整備担当			事業種別	重点プロジェクト							
次年度における事業の位置づけ							B	1							
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			要因の種類(※)												
① 施策の推進に向けた関係者との協議・検討実施回数	8	計画値	9	10	10	10	10	1	2	3	4	5	6	7	8
	回	実績	9	11	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容		▼まちづくり協議会 4回▼まちづくりルールの中間報告会 1回▼オープンハウス 1回▼都市・地域交通戦略推進協議会 2回▼まちづくり誘導計画に係る打合せ会 3回													
② 都市・地域交通戦略に掲げる12施策の中で、用地交渉または整備に着手する施策数	2	計画値	3	4	9	9	9	要因の種類(※)							
	施策/累計	実績	3	4	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容		都市・地域交通戦略における施策「1-5 生活道路における歩行者環境の充実」「1-7 歩行者空間の確保」「2-1 自転車走行空間の確保・明示」「2-2 自転車駐車場の移転・再配置」													
事務事業名称	府中基地跡地留保地周辺地区まちづくり事業		主担当部課名	まちづくり拠点整備推進本部 府中基地跡地留保地整備担当			事業種別	重点プロジェクト							
次年度における事業の位置づけ							B	1							
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			要因の種類(※)												
① 施策の推進に向けた関係者との協議実施回数	4	計画値	4	4	4	4	4	1	2	3	4	5	6	7	8
	回	実績	6	17	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容		▼財務省関東財務局との協議 13回 ▼多摩環境事務所への相談 4回 ●年度当初に国からオオタカの営業等の報告を受けたことにより、土地利用の検討の前提条件が変わったため、定例的な国との協議に加えて、適宜協議等を実施した。													
		計画値						要因の種類(※)							
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															
事務事業名称			主担当部課名				事業種別								
次年度における事業の位置づけ															
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			要因の種類(※)												
		計画値						1	2	3	4	5	6	7	8
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															
		計画値						要因の種類(※)							
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															

(※)要因の種類

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った
- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	概ね計画通りの成果を上げた	概ね計画通りの成果を上げた		
今年度の主な取組と成果	分倍河原駅周辺地区では、駅周辺の整備において鉄道事業者と基本協定を締結するとともに、その他の道路整備に係る測量等を実施した。 府中基地跡地留保地周辺地区では、令和3年にあった米軍通信施設の国への返還等に伴う影響を検証し、利用計画に関する見直しの方向性の検討を行った。	分倍河原駅周辺地区では、駅周辺の整備における基本設計に着手するとともに地元住民により組織されたまちづくり協議会に対し駅周辺の整備における考え方を説明し理解を得た。その他の道路整備に係る詳細設計等を実施した。 府中基地跡地留保地周辺地区では、オオタカ保護のために留保地に保全区域を設置する見直しであるため、国と協議を重ね、改めて土地利用の検討を行った。		
今後の展開	分倍河原駅周辺地区では、駅周辺の整備に係る基本設計を実施するとともに、事業用地の取得に向けて権利者と協議を進めていく。 府中基地跡地留保地周辺地区では、令和4年度で検討した利用計画見直しの方向性について、市民への周知を行うとともに、利用計画策定に向けて業務を推進する。	分倍河原駅周辺地区では、駅周辺の整備に係る実施設計に向けて、鉄道事業者と協議するとともに、引き続き、事業用地取得が円滑に進むよう、権利者との調整を進めていく。また、地区内周辺道路についても、引き続き整備を推進していく。 府中基地跡地留保地周辺地区では、土地利用の検討を引き続き行い、利用計画の策定に向けて、市民への周知等を行うなど事業を推進する。		
4年間の総合評価				
評価				
実績				
今後の展開				



6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
各拠点や拠点間の連携における、魅力ある持続可能なまちづくりに関すること。		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着手したい事業等)	今年度の方針	
分倍河原駅周辺地区では、まちづくり基本計画及び都市・地域交通戦略に掲げる駅周辺の基盤整備やまちづくりルールの策定などの各施策について、まちづくり協議会をはじめとした地域住民や鉄道事業者などの関係者との協働により、まちの将来像の実現に向けて取り組んでいく。 府中基地跡地留保地周辺地区では、整備後の土地利用において、市や市民、関係団体、民間事業者などの多様な主体によるエリアマネジメントを推進するため、連携する可能性のある主体とまちづくり体制の構築に向けて可能な限り調整を行っていく。	分倍河原駅周辺地区では、まちづくり協議会の運営支援や、まちづくりルールを策定するための地元住民とのワークショップの開催、鉄道事業者との協議を踏まえ進める駅周辺の基盤整備に向けた基本設計など、適宜協働により進める。 府中基地跡地留保地周辺地区では、エリアマネジメントの手法を取り入れるため、ノウハウのある事業者等にヒアリングを行う。	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
分倍河原駅周辺地区では、まちづくり協議会の運営支援や、まちづくり協議会協力のもと、まちづくり誘導計画の検討経過を周知するための中間報告会の実施、鉄道事業者との駅周辺の基盤整備に係る基本設計に向けた協議など、適宜協働により進めることができた。 府中基地跡地留保地周辺地区では、オオタカの営巣及び繁殖が確認されたことにより留保地の一部に保全区域を設置する見直しとなったため、土地利用の検討作業を改めて実施することになった。 検討では、整備後の土地利用の主体の検討に至っていないため、令和5年度のエリアマネジメントに係る取組については未実施となった。	協働で実施したことにより、何らかの効果を市民に還元できた	分倍河原駅周辺地区では、まちづくり協議会やにぎわい検討部会の運営支援、まちづくり誘導計画の策定に向けた内容の検討及び周知、鉄道事業者との整備に向けた協議など、適宜協働により進めていく。 府中基地跡地留保地周辺地区では、土地利用の検討を引き続き行い、利用計画の策定に向けて、市民への周知等を行うなど業務を推進する。 留保地の一部に保全区域を設置する見直しとなり、土地利用が今までの利用計画から大きく変わる可能性があるため、エリアマネジメントの推進については課題が多く困難であるが、協働の取組については、土地利用に応じた取組を検討する。

施策評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和5年度

1 施策の目的等

施策名	060 けやき並木と調和したまちづくりの推進		
総合計画	基本目標	IV 魅力あふれる うるおいと活力のあるまち（都市基盤・産業）	主担当部課名
	基本施策	02 地域特性を生かした都市空間の形成	
めざす姿	市民・事業者・市が協働し、本市のシンボルであるけやき並木を守り、将来の世代に伝えるための取組が進められるとともに、けやき並木の公共空間が広く民間事業者等に活用され、多様な人-が憩い、交流する空間として機能することで、魅力やにぎわいが生まれています。		
SDGsとの関連	 		

2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	73,411,000	47,714,000	60,739,000	100,538,000		
国庫支出金	0	0	0	0		
都支出金	4,100,000	13,500,000	3,776,000	0		
市債	0	0	0	0		
その他	27,000,000	5,000,000	17,500,000	27,900,000		
一般財源	42,311,000	29,214,000	39,463,000	72,638,000		
予算現額	54,621,000	47,714,000	62,694,000	0		
決算額	40,781,902	43,103,372	60,370,176	0		
国庫支出金	0	0	0	0		
都支出金	12,870,000	12,410,000	12,420,000	0		
市債	0	0	0	0		
その他	0	3,700,000	19,200,000	0		
一般財源	27,911,902	26,993,372	28,750,176	0		
執行率	74.7	90.3	96.3	0.0		
(人件費)						
職員数	4.35	5.40	6.43	0.00		
職員人件費	34,044,263	43,591,993	51,289,092	0		
月額制会計年度任用職員数	0.00	0.00	0.00	0.00		
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0	0		
(間接経費)						
間接経費	1,097,680	1,409,735	1,702,941	0		
総コスト	75,923,845	88,105,100	113,362,209	0		

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移				R 7年度 目標値
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	
① けやき並木に残す、古木・次世代木の本数	117	実績	119	118	-	125
	本	達成率	95.2	94.4	0.0	
② 休日のけやき並木の歩行者通行量	28,330	実績	23,071	26,761	-	38,000
	人	達成率	60.7	70.4	0.0	
		実績				
		達成率				
		実績				
		達成率				

指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	新型コロナウイルスの影響も薄れ、人の往来は増加傾向にある	評価	目標達成に向け順調に進ちよくした
国・都の政策	国では都市再生整備計画に基づき実施される事業等に対する支援があるなど、地域の歴史・文化・自然環境等の特性を活かしたまちづくりを推奨をしている。	「ケヤキ並木保護更新プロジェクト」にて育成したケヤキの苗木を府中第八小学校と府中第一中学校にそれぞれ3本植樹した。 にぎわい創出に向けた各種イベントを実施したほか、民間事業者にけやき並木通り等を貸し出す事業を新たに開始した。	
市民ニーズ	従前からけやき並木については市民の注目も高く、本市のシンボルである「国天然記念物馬場大門のケヤキ並木」を適切に守ることや、けやき並木周辺でにぎわいを創出することは、市民ニーズも高い。		

4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	けやき並木周辺整備事業		主担当部課名	都市整備部 道路課			事業種別	重点プロジェクト							
次年度における事業の位置づけ							B	1							
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)							
① 道路の完成率	6.6	計画値	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	1	2	3	4	5	6	7	8
	%	実績	6.6	6.6	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容		現在は用地交渉を行っている段階であるため、継続して行っていく。													
	計画値	実績						要因の種類(※)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		1	2	3	4	5	6	7	8
要因の具体的内容															
事務事業名称	馬場大門ケヤキ並木保護対策事業		主担当部課名	文化スポーツ部 ふるさと文化財課			事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ							A								
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)							
① けやき並木に残す、古木・次世代木の本数	117	計画値	119	121	123	125	125	1	2	3	4	5	6	7	8
	本	実績	119	118	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容		文化財としての文化庁との協議で課題が生じているため。													
	計画値	実績						要因の種類(※)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		1	2	3	4	5	6	7	8
要因の具体的内容															
事務事業名称	中心市街地活性化ビジョン推進事業		主担当部課名	生活環境部 産業振興課			事業種別	重点プロジェクト							
次年度における事業の位置づけ							A								
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)							
① けやき並木通りの活用日数(まちづくり府中主催・共催・後援のイベント等)	39	計画値	39	41	43	45	45	1	2	3	4	5	6	7	8
	日	実績	45	43	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容		新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、概ね予定通りのイベントを実施できた。													
	計画値	実績						要因の種類(※)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		1	2	3	4	5	6	7	8
要因の具体的内容															

(※)要因の種類

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った
- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	概ね計画通りの成果を上げた	概ね計画通りの成果を上げた		
今年度の主な取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> ・国天然記念物馬場大門のケヤキ並木の保護対策を保護管理計画に基づき実施するとともに、次世代後継樹の育成に係る「保護更新プロジェクト」を推進した。 ・けやき並木通りにて各種イベント事業等を実施したほか、新たな事業に向けた検証等を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国天然記念物馬場大門のケヤキ並木の保護対策を保護管理計画に基づき実施するとともに、次世代後継樹の育成に係る「保護更新プロジェクト」を推進した。 ・けやき並木通りにて各種イベント事業等を実施したほか、様々な主体によるにぎわい創出を促進するため、けやき並木通り等を民間事業者に貸し出す事業を開始した。 		
今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きケヤキ並木の保護対策を適切に実施するとともに、「保護更新プロジェクト」等を推進し、市民協働によるケヤキ並木の保護更新とともに、歴史的価値の普及啓発、府中市のシンボルとしてふさわしい景観の保全に努める。 ・けやき並木通り等の更なる活用を行い、中心市街地活性化ビジョンに基づくにぎわい創出を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きケヤキ並木の保護対策を適切に実施するとともに、策定後16年が経過した「保護管理計画」の見直しを行う。また、「保護更新プロジェクト」等を推進し、市民協働によるケヤキ並木の保護更新とともに、歴史的価値の普及啓発、府中市のシンボルとしてふさわしい景観の保全に努める。 ・けやき並木通り等の更なる活用を行い、中心市街地活性化ビジョンに基づくにぎわい創出を推進する。 		
4年間の総合評価				
評価				
実績				
今後の展開				

6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
けやき並木の保護管理や周辺環境の整備と、けやき並木やペDESTリアンデッキ等の魅力的な空間活用に関すること。		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着手したい事業等)	今年度の方針	
けやき並木やペDESTリアンデッキ等の空間活用を進めるため、民間事業者や市民等との協働を進め、魅力あるイベントの開催等を実施していく。	都市再生推進法人である一般社団法人まちづくり府中と連携し、けやき並木通りと府中スカイナードの活用を進める。	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
けやき並木通り及び府中スカイナードを民間事業者に貸し出す事業の運用を令和6年3月に開始した。	協働で実施したことにより、何らかの効果を市民に還元できた	けやき並木通り及び府中スカイナードを民間事業者に貸し出す事業について周知等を図り、より多くの事業者による活用を図る。